

阿波市 『阿波市学校給食センター』 徳島県阿波市

【贈呈理由】蓄熱システムの導入により、環境負荷低減を実現



阿波市学校給食センター

徳島県阿波市は、2005年に板野郡の吉野町と土成町、阿波郡の市場町と阿波町の4つの町が合併して誕生した。徳島県中央北部に位置し、四国三郎と呼ばれる大河「吉野川」の北岸に広がっており、誇るべき深い歴史や文化を有し、「四国霊場」の4つの札所をはじめとする名所旧跡が点在している。

あらゆる面から検討した結果、電化厨房を採用

阿波市学校給食センターは、市内の3地域で異なった給食が提供されている現状を解消しようと新築が計画され、14年7月に竣工した。計画段階においては、食の安全性・衛生管理面、作業効率・作業環境、運営コストなど、細部にまで気を配り検討を行った結果、調理室内を温度25℃以下、湿度80%以下に維持できる厨房環境と、厨房床のドライシステム化が達成可能なオール電化方式が採用された。なお、4,000食の規模は、県内のオール電化学校給食センターとしては最大級のものである。

省エネ性に優れ、湯量が豊富な業務用エコキュート

給湯設備には、調理や食器洗浄などに大量のお湯を使用することから、省エネ性に優れ、一度に大量のお湯が使える業務用エコキュートを採用し、環境負荷の低減とランニングコストの削減に大きく寄与している。さらに、夜間電力を利用した蓄熱式の蒸気発生器を採用し、煮物や汁物など、多様なメニューを迅速かつ経済的に調理を行い、省エネ・省コストな給食づくりを実現している。

また、阿波市学校給食センターでは、調理過程を見ることができる「見学廊下」や、食に関する研修会などが開催できる「研修室」を設け、食生活、地元食材や食の文化など、子どもたちや保護者のもとより、すべての市民が「食について学べる拠点」として位置づけ、地域と一体となって食育の推進に努めている。



業務用エコキュート



蓄熱式蒸気発生器

阿波市学校給食センター

所在地：徳島県阿波市市場町切幡字古田117-1
建築設計：(株)オール・アイ・エー
建築施工：(株)奥村組
蓄熱設備施工：(株)奥村組
延床面積：2,849㎡
竣工：2014年（新設）

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート 74kW×4台〔前川製作所〕
貯湯槽：48㎡
蓄熱式蒸気発生器 27kW×4台〔IH検査計測〕